

U9-2025-

課題論文

試験問題

注意事項

1. 問題は **2 題**あります。 **2 題とも必ず解答**してください。
2. 解答時間は **3 時間**です。
3. 答案用紙の記入について
 - (ア) 答案は濃くはっきり書き、書き損じた場合は、解答の内容がはっきり分かるように訂正してください。
 - (イ) 問題 **1 題に 1 枚**(両面)を使用してください。
 - (ウ) 表側の各欄にそれぞれ必要事項を記入してください。**問題番号欄には、問題 1 は「1」、問題 2 は「2」と記入**してください。
 - (エ) 試験の公正を害するおそれがありますので、答案用紙の切取線より下の部分に氏名その他解答と関係のない事項を記載しないでください。
4. この問題集は、本試験種目終了後に持ち帰りができます。
5. 本試験種目の途中で退室する場合は、退室時の問題集の持ち帰りはありませんが、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集を切り取ったり、転記したりしないでください。
6. 下欄に受験番号等を記入してください。

第1次試験地	受験番号	氏名
--------	------	----

指示があるまで中を開いてはいけません。

問題 1

AI(Artificial Intelligence：人工知能)技術の活用について、AI技術の持つメリット・デメリットそれぞれについて説明した上で、あなたの身近な生活において利便性の向上に有効だと思われるAI技術の活用方法を一つ挙げ、得られる効果と利用に当たって必要となる注意点について、あなたの考えを述べよ。

問題 2

あなたが海上保安部長を務めるA海上保安部には、B港に停泊する特大型巡視船C、大型巡視船D、中型巡視船E及びF、小型巡視船Gが所属している。

ある年の7月1日午前11時に、X島のY村からA海上保安部に対して「7月3日にX島に暴風域を伴った台風が接近する予報が出た。日没を考慮して7月2日午後8時までにY村村民150人を全員、島外に避難させてもらいたい。」との要請があった。これに対応するため、7月1日午後零時に、まずはY村村民全員を乗船させられる特大型巡視船Cが出港し、その後中型巡視船Eが出港した。

翌2日午前1時、今度はS島のT村からA海上保安部に対して「たった今、S島に火山の噴火に関する避難勧告が発出された。今から24時間以内にT村村民310人を全員、島外に避難させてもらいたい。」との要請があったことから、あなたは、所属船を指揮して可及的速やかに、Y村村民150人及びT村村民310人の合計460人を、A海上保安部まで避難させた。

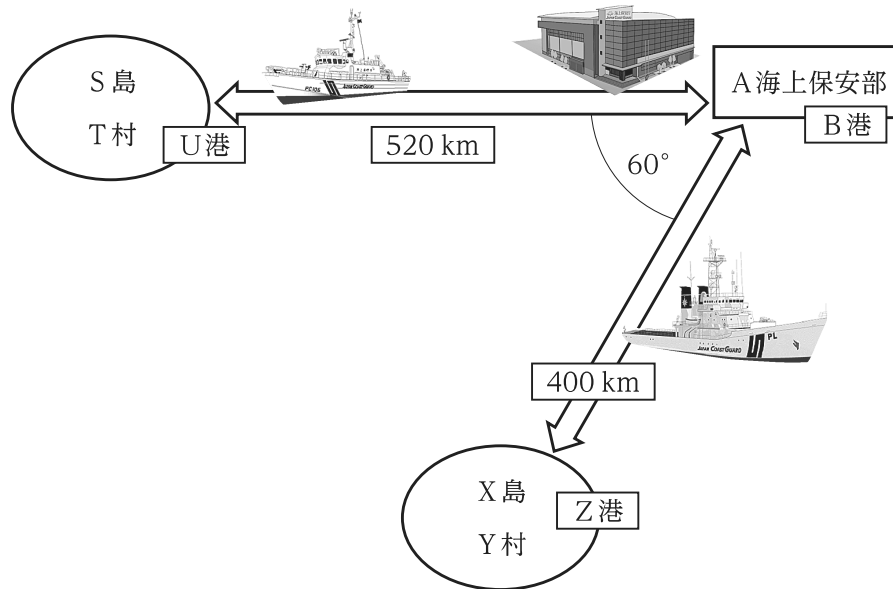
後日、新聞社から、この一連の陣頭指揮を執ったあなたに対して「海上保安部長としてあなたは、どのようなことに重点を置いて業務に当たるように指示をしたのか、所属巡視船を具体的にどのように運用したのか、その方法を選択した理由について、記者会見を開いて詳細に説明してほしい。」との申入れがあった。

記者会見の席であなたはどのように説明するのかを述べなさい。なお、各種条件は以下のとおりである。

<条件>

○ 位置関係

S島、X島にはそれぞれU港、Z港があり、A保安部(B港)と各島(各港)との距離は、以下のとおり。なお、S島にはT村のみ、X島にはY村のみがある。



○ 巡視船の勢力

各巡視船の乗船可能人数等は、下表のとおり。

巡視船の種類	乗船可能人数(乗員を除く)	速力(時速)	入港の可否
特大型巡視船	200 人	20 km	U 港は可能、Z 港は不可
大型巡視船	100 人	30 km	U 港、Z 港とも可能
中型巡視船	60 人	50 km	U 港、Z 港とも可能
小型巡視船	25 人	70 km	U 港、Z 港とも可能

○ 各所要時間

- ・各巡視船から特大型巡視船への移乗に要する時間

港で村民を乗船させて出港し、特大型巡視船に移乗させて再度その港に入港するまでに要する時間は、大型巡視船は 70 分、中型巡視船は 50 分、小型巡視船は 30 分である。

- ・入港した巡視船に村民を乗船(又は下船)させて出港までに要する時間

特大型巡視船は 60 分、大型巡視船は 40 分、中型巡視船は 20 分、小型巡視船は 10 分である。

○ その他

- ・事前に T 村からの要請は、予見できない。
- ・各巡視船の燃料に、欠乏のおそれはない。
- ・各巡視船の B 港出港に要する時間は、問わない。
- ・各島から避難する村民の性別、年齢は、問わない。